



前後町長と握手を交わすアパルウ大使(右)

東京五輪事前合宿受け入れに感謝

ガーナ駐日全権大使が本町を訪問

ガーナのジュネヴィーヴ・エデウナ・アパルウ駐日全権大使は5月30日と31日、本町を訪れ、前後町長を表敬訪問しました。本町は、東京2020オリンピック・パラリンピックでガーナのホストタウンに登録され、競技大会に出場する選手の受け入れやスポーツなどで交流を深めてきました。アパルウ大使は、「選手を支えてくれたことに感謝し、今後も猪苗代町との絆を生かし協力していきたい」と述べ、前後町長と固く握手を交わしました。

23 部門に 420 人力走

町健康マラソン大会

町健康マラソン大会は6月26日、町運動公園で開かれ、参加した約420人が健脚を競いました。レースは男女別や学年別、リレーなどの23部門で行われ、参加した選手たちはそれぞれ自己ベストを目指して走り、爽やかな汗を流しました。

当日は、ゴールを目指して一生懸命に走る選手を応援するため、多くの人が駆けつけました。猪苗代中学校の総合文化部の生徒も応援に駆けつけ、大会を盛り上げました。



小学1・2年男子・女子の部の様子

600 人が自慢の健脚を競う

会津磐梯山ウルトラマラソン

第1回O S J会津磐梯山ウルトラマラソンは6月5日、町総合体育館などをスタート・ゴールに、磐梯山周辺を一周するコースで開かれました。100㌔と65㌔に約600人が参加。県内外から集まったランナーたちは、100㌔は町総合体育館、65㌔は北塩原村の休暇村裏磐梯をスタートし、磐梯山や猪苗代湖の景色を眺めながら、日頃のトレーニングで鍛えた自慢の健脚を競い、ゴールを目指しました。



100㌔コースの部で健脚を競うランナー

スポーツで親睦を深める

町高齢者スポーツ大会

町高齢者スポーツ大会は6月24日、町総合体育館で開かれ、町内6地区から56人が参加しました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催。スティックでボールを得点のついた穴に向かって打ち点数を競う「スカットボール」や、ディスクを的に向かって投げ入れた回数を競う「フライングディスク」など、ニュースポーツ競技3種目で争われました。参加者は、真剣に競技に取り組みながら、スポーツを通じて親睦を深めました。



真剣な表情で競技に取り組む参加者



Pick Up

今月の話題

会津地域活性化に向けて共同宣言

共同宣言した各市町村長、高野局長(前列左から4人目)、辰野会長(同3人目)

本町を含む会津地方の13市町村と県会津地方振興局、アウトドア用品メーカーの「モンベル」は6月2日、「人生100年時代 会津・モンベル広域連携共同宣言」を行いました。同日、共同宣言に先立ち、本町と同社は個別に包括連携協定も締結しました。

今後は、自然災害への対応、健康福祉の増進、観光施策など、それぞれの市町村が抱える課題の解決に向けて、連携した施策に取り組んでいきます。



包括連携協定を締結した前後町長と辰野会長(左)

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Jul.2022
7
No.741

今月の表紙

町健康マラソン大会親子競走小学生の部(1・2年生)に出場した熊谷直人さん梨玖さん親子。精いっぱい1㌔を走り抜きました。喜びのゴールの瞬間。



【撮影日】 6月26日

【撮影場所】 運動公園

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 特集 ごみを減らすためにできること
- 06 国民健康保険税の税率が変わりました
- 08 12年前の「夢」掘り起こします！／地域おこし協力隊通信
- 09 スクールトピックス
- 10 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー